

2017年1月1日から2020年6月30日に、当院で胃癌の手術を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：胃癌患者の血漿中 Podoplanin 発現の意義

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2022年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部 外科学講座第1教室 教授 市川大輔

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存試料の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

近年、がん組織内において間質の主な構成要素である線維芽細胞が腫瘍細胞の進展に重要な役割を担っていることが明らかになってきています。がん周囲線維組織のマーカーとして注目されている、Podoplanin の血漿中での発現を検討し、バイオマーカーとしての臨床的意義を検討します。また血漿中 Podoplanin の生物学的な意義を検討する為に、細胞株を用いた機能解析を行い、新しい治療標的としての可能性を検討します。

【研究の方法について】

- ・血漿中の Podoplanin の発現を検討し、臨床的意義を検討します。
- ・細胞株を用いて液性 Podoplanin の機能について解析します。

【利用する試料・情報について】

〈対象となる患者さん〉

2017年1月1日から2020年6月30日に、当院で胃癌の手術を受けた方で当科で実施中の研究「がん組織ならびに担がん患者の体液保存プロジェクト」の参加に同意していただいた方

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報

試料：血液

なお、この研究に必要な臨床情報及び試料は、すべて診療録及び余剰検体より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

【試料・情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する試料・情報の利用者は、本学医学部外科学講座第1教室の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部外科学講座第 1 教室

助教 庄田勝俊

メールアドレス：kshoda@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-7390